

村井ひでき通信 第25号

～2017年下半期の
活動報告編～



明けましておめでとうございます。昨年10月の総選挙では、お陰様で3回目の当選を果たすことが出来ました。初心忘れることなく、全力で職務に精励して参ります。

本号では、2017年下半期の内閣府大臣政務官としての活動や、村井ひできが主役の一人として描かれた一冊「人生100年時代の国家戦略～小泉小委員会の500日～(著者:藤沢烈)」などについて紹介させていただきます。

新たな政策パッケージのとりまとめに奔走！！

～人生100年時代を見据えて～

昨年末は、「人生100年時代」を見据えた政策パッケージの取りまとめに担当政務官として奔走しました。平均寿命が大きく延伸し、AIなどの技術も劇的に進歩する中で、戦後我が国の社会保障・教育制度が前提としてきた、日本人の標準的な生き方「20年学んで、40年働いて、20年休む」も大きく変わることとなります。

そのため、政府の「人生100年時代構想会議」では、多様なライフスタイルに合わせた骨太の制度改革を進めており、第一弾として、2兆円規模の新たな政策パッケージを取りまとめました。

～政策パッケージの概要～

これまで我が国の社会保障は、人生前半部分が手薄と言われてきましたが、幼児教育・保育の無償化を実現すると同時に、私立高校の無償化範囲の拡大、大学の授業料免除措置の拡充・給付型奨学金の増額など、子育て世帯の負担を大幅に軽減することとしました。

また、人生100年時代には、個人が人生を再設計する機会が増え、急速な技術革新にも対応する必要があるため、生涯を通じた学び直しが不可欠であり、いわゆる「リカレント教育」の拡充に向け、国も多様な支援策を用意することとしました。

さらには、人口減少が進み、働き手が不足する中で、就労促進を加速する観点から、保育の受け皿整備の前倒し実施、学童保育の拡充、保育士・介護士の皆さんの更なる待遇改善などを行っていくこととしました。

今後、夏までに制度の詳細を詰めていくこととなりますが、これらの施策は、主に2019年10月に予定をされている消費税引上げの財源を利用するため、待機児童対策など前倒しで実施するものを除き、2019年度から一部実施、2020年度から全面実施の予定となります。

～皆様の声を聞かせて下さい！～

若手議員が集まった「2020年以降の経済財政構想小委員会」で、人生100年時代を見据えた大きな制度改革が必要であると問題提起してから1年余り。この短期間で、若手の提言が一部形を変えながらも政権の重要政策となり、実現に向かって動いています。スピード感に乏しいといわれる永田町・霞が関では異例のことです。

新たな「政策パッケージ」については、賛否を含めて様々な声を伺っておりますが、今後の詳細な制度設計に当たり、できるだけ多くの方にご理解ご支援頂けるものに仕上げ参ります。是非引き続いて、皆様の声を聞かせて頂けますようよろしくお願い申し上げます。



官邸での会議に出席している際の様子。ここで政策の骨格が固まっていきます。左から、安倍総理、菅官房長官、野上副長官、村井。



政務官の仕事の大きな柱は、与党との政策調整です。自民党・公明党の会議で、政府を代表して政策案の方針を説明。与党側の意見を伺います。



国会初答弁の様子。今年も数多くの答弁が予想されますが、分かりやすく丁寧に答えて参ります。

【村井ひできミニプロフィール】

昭和55年さいたま生まれ。37歳。
家族：妻・長男(3歳)・次男(6ヶ月)。
浦和市立別所小学校卒業。東京大学卒業後、財務省入省。ハーバード大学大学院修了。
平成23年財務省退官(主税局参事官補佐)。
平成24年12月第46回総選挙初当選。
平成26年12月第47回総選挙再選。
平成29年10月第48回総選挙3選。
現職：内閣府大臣政務官、埼玉県野球協会会長、埼玉県サイクリング協会会長

【「小泉小委員会の500日」が出版！】

小泉進次郎議員ら若手議員が激論を繰り広げた「2020年以降の経済財政構想小委員会」の500日間の模様が収録された「人生100年時代の国家戦略」が、去る12月8日に出版されました。著者は、小委員会のオブザーバーを務めてくれた藤沢烈さん。

「人生100年時代」という言葉を生み出し、「こども保険構想」等世間の注目を集める様々な提言を発表。安倍一強と言われる中で政策立案をリードしたことで、「自民党内の小さな革命」とも言われた小委員会の様子が描かれています。

村井ひできも、小泉議員を支えるNO.2の事務局長として、主役の扱いをされております。地元の各書店でも、目立つ場所に平積みして頂いております。是非お手にとり頂き、村井ひできの仕事ぶりをご一読頂けると幸いです。

人生100年時代の 国家戦略

小泉小委員会の500日

小泉小委員会オブザーバー 藤沢烈

伴走し続けた著者だから書けた
小泉進次郎と若手議員20人
激闘の記録



【金融政策の新しい流れをリード！】

内閣府政務官の仕事の一つは金融政策です。金融庁では、現在「金融処分庁」から「金融育成庁」へを合言葉に大きな政策転換を行っており、その新しい流れをリードしています。

まず、金融機関に対して行ってきた厳しい資産査定を改め、検査マニュアルを廃止するなど、成長資金が中小企業をはじめ実体経済に流れやすい環境整備を進めています。

また、投資の初心者向けに、積立NISAを今年1月からスタート。「貯蓄」から「資産形成」への流れを後押ししています(写真右上は、鳥取での意見交換会の様子)。

さらには、金融庁内に政務官直轄のチームをつくり、フィンテックなど新しい金融技術への対応を進めています(写真は、フィンテックサミットで講演を行った際のもの)。



【お力を賜り3期目当選！】

昨年10月に行われました第48回衆議院議員総選挙(埼玉1区)において、106,699票を頂き、3回目の当選を果たすことが出来ました。直前の選挙区割りの改定で、見沼区の一部(東大宮駅の西口エリア)が選挙区から外れ、有権者数は減少しましたが、多くの皆様からご支援を賜り、前回よりも多くの票を頂くことが出来ました。皆様方から託して頂いた一票一票を胸に深く刻みこみ、引き続き職務に邁進して参ります。

写真右上は、岩槻駅前、安倍総理に応援に駆けつけて頂き、街頭演説会を行った際の様子。駅前のロータリーを埋め尽くす、約3000名の方に集まって頂きました。

写真右下は、浦和駅前、選挙戦初日に、小泉進次郎議員と街頭演説会を行った際の様子。約5000名の方に集まって頂き、浦和駅東口は熱気に包まれました。

